

実 務 経 歴 証 明 書

(ふりがな) 氏 名	(にまいがい はまぐり) 二枚貝 はまぐり	生年月日	平成 8年 1月 1日生
本 籍	神奈川県三浦市三浦海岸沖合い		
現 住 所	神奈川県三浦市三浦海岸沖合い		
勤務先及び 役 職 名	はまぐり水産株式会社 設備管理課 特命課長 (T E L 090-0000-0000)		

略 歴

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月			
平成 30年 1月	令和 4年 6月	4年 6ヶ月	「申請期間」 はまぐり水産 株式会社 設備管理課 施設担当	【概要】 申請者は平成30年1月はまぐり水産株式会社へ入社、以来はまぐり水産株式会社 設備管理課 施設担当に社員として勤務した。 設備管理課は三浦海岸水上ビルの設備全般の維持管理、運営に携わっている。 今般、平成30年1月1日から令和4年6月30日の間、上記設備管理課 施設担当として電気主任技術者二枚貝 しじみ氏（第三種 第00-1234号）の指導のもと、電気主任技術者代務者として原動監視室に常駐し電力設備の安定供給および事故の未然防止を目的とし、電気保安規程に基づき電気工作物の運転・監視・点検および工事に従事した経験をもって、第三種電気主任技術者の免状を申請します。 設備管理課 5名の内、 施設担当は 2名で、 電気主任技術者 1名 代務者（申請者）1名 の構成 施設担当では、電力設備のインフラの管理業務、原動設備管理業務を専門に行っていた。 勤務時間 平日 9：00分～17:00分 以下業務の実施方法	・事業場の名称 はまぐり水産株式会社 三浦海岸水上ビル ・事業場の所在地 神奈川県三浦市 三浦町1111 ・需要設備概要 受電電圧 6,600 V 契約電力 2,500 k W 設備容量 7,300kVA 非常用発電機 500 k W 2回線受電（本予備） ・過電流ロック形高圧交流 ガス開閉器(UGS) (Underground Gas Switch) 定格 7.2kV 400A 台数2台（本線・予備線） 責任分界点 東京電力キャビネット内

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		【業務の実施方法】 申請者は、電気主任技術者の指導のもと保安規程・電気設備技術基準、および社内基準に基づき電気設備の正常な維持、事故の未然防止を目的として以下の業務を行った。 【日常業務】 ①設備運転操作業務 ②運転状況監視業務 ③記録業務 ④日常巡視点検業務 ⑤月例巡視点検業務 【定期業務】 ①月間業務 ②定期点検 ③定期試験測定 ④保安教育 【不定期業務】 ①工事業務 ②特別巡視 ・以下各業務詳細 【日常業務】 ①設備運転操作業務 申請者は毎朝、受電点において力率を100%に調整するために、負荷の増減に応じて受電力率計を調整する自動力率調整装置の動作の確認を行った。 月例報告として電力計の検針、月間電力量の計算及び月間力率の報告を電気主任技術者に行った。 ②運転状況監視業務 申請者は毎朝、高圧受変電所設備の正常な運転を維持するために同受変電所内の電圧計・電流計・力率計・周波数計及び運転表示ランプにより運転状態を監視し、日常点検記録簿の作成を行った。 又、機器の異常は、異常警報盤のベル・ブザー及び異常表示ランプにより監視した。 赤色ランプ表示が運転状態、青色ランプ表示が停止中であり、現場に掲示している定常状態写真と比較し、正常状態である事を確認した。 また機器の異常は異常警報盤のブザー及び	・UGS地絡方向継電器 台数2台(本線64、予備67) SOG動作 (Storage Over Current Ground) 計器用変圧器 (VT) 内蔵 (Voltage Transformer) 零相変流器 (ZCT)内蔵 (Zero phase Current transformer) ・受電送りケーブル 6.6kV CVT 150sq 2回線 (本線・予備線) 以上、東電ボックス内 ・受電キュービクル式 高圧受電設備 (屋上) 以下、内機 ・保護継電器 地絡方向継電器 台数6台 過電流継電器 台数6台 不足電圧継電器 台数2台 ・電力需用計器用変成器 (VCT) (Voltage Current Transformer) 台数2台 (本線・予備線) ・受電用断路器 (DS-3P) (Disconnecting Switch) 7.2kV 600A 台数2台 (本線・予備線) 三極連投 相間バリア付

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		異常表示ランプが橙色点灯でないことを監視した。これらの異常は中央監視装置により常時監視した。 受電電圧の管理基準は$6,600V \pm 5\%$を基準として正常の判断を行った、また受電電力量については契約電力（DM）以内にあることの確認を行った。特に夏場は、契約電力もぎりぎりの状態であり、尖頭的に飛び出る電力の変動に注意した。 監視業務の各メーター判断基準 高圧用電圧計 $6,600V \pm 5\%$以内 力率計（遅れ） $98\% \sim 100\%$ 地絡電圧計（Vゼロ） $0V$ 各メーター数値が判定基準内にある事の監視を行った。上記基準から逸脱した場合は電気主任技術者へ報告し指示を仰ぐと同時に、その原因を調査し復旧した。また異状は全て電気主任技術者と共に総括管理者へ報告した。 ③記録業務 申請者は毎朝、受電盤の電圧計・電流計・電力計及び受電用変圧器盤の電圧計・電流計の指示を1日1回巡回記録した。 点検時間：1時間半／1日 また、受電の電圧・電力量・力率は、中央監視装置にて毎回確認、記録をした。記録したデータは分析管理し契約電力の見直しや年度供給計画の立案などに活用した。 ④日常巡視点検業務 申請者は毎朝、電気工作物の異常の有無を早期に発見するため、上記「③記録業務」と合わせて、キュービクルの扉は開けない状態で保安規定に基づき視覚、聴覚、嗅覚などの五感を使った点検を1日1回実施した。 点検時間：1時間半／1日 各部の損傷、汚損、腐食、発錆、変色、振動、異音、異臭など異常があった場合は、日常点検表「特記事項」に記録し、結果を電気主任技術者へ報告した。	・受電用計器用変圧器(VT) (Voltage Transformer) 定格電圧 $6.6kV / 110V$ 定格容量 $100VA$ 台数 4台 (本線×2台・予備線×2台) ・避雷器 (LA) × 2台 (Lightning Arrester) 定格電圧$8.4kV$ 放電電流$2.4kA$ 台数2台 (本線×1・予備線×1) ・受電用遮断器 (52R) 高圧真空遮断器(VCB) (Vacuum Circuit Breaker) 容量 $7.2kV 600A$ 遮断電流 $12.5kA$ 台数2台 (本線×1・予備線×1) ・高圧計器用変流器(CT) (Current Transformer) 定格 $400/5A 40VA$ 台数 4台 (本線$52R1 \times 2$ 予備線$52R2 \times 2$) ・零相蓄電器(ZPC) (zero phase potential condenser) ・真空遮断器 (VCB) (Vacuum Circuit Breaker) 容量 $7.2kV 600A$ 遮断電流 $12.5kA$ 台数 7台 (52FC、52F1、52F2、52F3、 52FC4、52FC5、52FC6)

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年数		⑤月例巡視点検業務 申請者は毎月1回、当ビルの電気工作物について異常の有無を調査するため、保安規程に基づき下記に示す点検を実施した。 点検はチェックリストに従い、視覚、聴覚、嗅覚により行い、必要に応じ熱線監視カメラを用いて実施した。異常があった場合は、月例点検表「特記事項」に記録し、結果を電気主任技術者へ報告した。 (点検周期：月1回) ・ガス開閉器 各部の損傷、腐食、発錆、変色、汚損、異音、過熱、端子の緩みの有無の確認。 ・保護継電器 動作表示機が動作していないか確認。 異音、異臭、過熱の有無の確認。 ・受電送りケーブル 母線のたわみの有無の確認。 端子の緩み、汚損、損傷の有無の確認。 UGSボックス内異常の有無を確認。 ・キュービクル 浸水痕跡、腐食、異物、異音、隙間の有無確認、排気ファン動作、吸気口防虫メッシュの異常の有無確認。ケーブル貫通部などのパテの欠損確認。 ・電力需給用計器用変成器 (VCT) 各部の損傷、腐食、変色、変形、汚損、過熱、異音、亀裂の有無の確認。 ・断路器 歯の接触状態が完全であるかを確認。 サーモテープの変色により端子部の過熱の有無を確認。 開閉表示ランプの点灯を確認。 碍子の汚損・破損の有無の確認。 ・受電用計器用変圧器(VT) 各部の損傷、腐食、変色、変形、汚損、過熱、異音、亀裂の有無の確認。 ・避雷器 端子の汚損、損傷の有無の確認。 接地線の外れ、断線の有無の確認。	・ 高圧計器用変流器(CT) (Current Transformer) 定格 30/5A 40VA 台数 2台 (52FC) ・ 高圧計器用変流器(CT) (Current Transformer) 定格 300/5A 40VA 台数 2台 (52F1) ・ 高圧計器用変流器(CT) (Current Transformer) 定格 200/5A 40VA 台数 8台 (52F2、52F4、52F5、52F6) ・ 高圧計器用変流器(CT) (Current Transformer) 定格 100/5A 40VA 台数 2台 (52F3) ・ 零相変流器 (ZCT) (Zero-phase Current Transformer) 定格 400A 高圧用 台数 6台 (52F1、52F2、52F3、52FC4、52FC5、52FC6)

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年数		・真空遮断器 各部の汚損、異音、異臭、過熱、開閉表示ランプの状態表示灯の確認。外観点検。 ・高圧計器用変流器(CT) 各部の損傷、腐食、変色、変形、汚損、過熱、異音、亀裂の有無の確認。 ・零相蓄電器 各部の損傷、腐食、変色、変形、汚損、亀裂の有無の確認。 ・零相変流器 各部の損傷、腐食、変色、変形、汚損、過熱、異音、亀裂の有無の確認。 ・真空電磁接触器 各部の汚損、異音、異臭、過熱、開閉表示ランプの状態表示灯の確認。外観点検。 ・負荷開閉器 歯の接触状態が完全であることを確認。 サーモテープの変色により端子部の過熱の有無を確認。 開閉表示ランプの点灯の確認。 各部の汚損、異臭、損傷の確認。外観点検。 ・高圧リアクトル 各部の損傷、腐食、発錆、変色、汚損、異音、過熱、端子の緩みの有無の確認。 ・高圧コンデンサー 各部の損傷、腐食、発錆、変色、汚損、異音、過熱、端子の緩みの有無の確認。 ・受電用変圧器 温度計により温度の確認。 サーモテープの変色により端子部の過熱の有無確認。 各部の損傷、腐食、発錆、汚損、異音、異臭、端子の緩み、油漏れの有無の確認。 ・直流電源装置 整流器盤の電圧、電流を確認。 各部の損傷、腐食、発錆、変色、汚損、異音、過熱、端子の緩みの有無の確認。	・真空電磁接触器 (VMC) 高圧進相コンデンサー用 (Vacuum Circuit Switch) 容量 6.6kV 200A 常時励磁式 コンピネーションユニット引出型 薄型 PF溶断付 DC100V 台数 3台 (42C1、42C2、42C3) ・高圧交流負荷開閉器(LBS) (Load Break Switch) 相間バリア PF溶断付 高容量型 定格 7.2kV 200A 遮断容量 40kA 台数3台 (89T1、89T2、89T3) 限流ヒューズリンク T87A×6本 (89T1×2、89T2×2、 89T3×2) ・高圧交流負荷開閉器(LBS) (Load Break Switch) 相間バリア PF溶断付 定格 7.2kV 200A 遮断容量 40kA 台数14台 (89T4、89T5、89T6、 89T7、89T8、89T9、 89T10、89T11、89T12、 89T13、89T14、89T15、 89T16、89T17) 限流ヒューズリンク T50A×35本 (89T4×2、89T5×2、 89T6×2、89T7×3、 89T8×3、89T9×3、 89T11×2、89T12×3、 89T13×3、89T14×3、 89T15×3、89T16×3、 89T17×3) T30A×2本 (89T10)

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		【定期業務】 ①月間業務 毎月の電力使用量を変圧器毎に算出し、月間電力使用量表を作成して、主任技術者を通してオーナーへ配布した。 ②定期点検 定期点検は、巡視点検において点検できない細部について点検するもので電気主任技術者の指示、指導のもと以下に示すように行う。 尚、定期点検は保安規程にて、1年1回以上であり申請者は以下の項目の点検を専門業者と共に異常の有無を確認実施した。 ・ガス開閉器 ・保護継電器 ・受電送りケーブル ・キュービクル ・電力需給用計器用変成器（VCT） ・断路器 ・受電用計器用変圧器（VT） ・避雷器 ・真空遮断器 ・高圧計器用変流器（CT） ・零相蓄電器 ・零相変流器 ・真空電磁接触器 ・負荷開閉器 ・高圧リアクトル ・高圧コンデンサー ・受電用変圧器 <停電せずに行う点検> ・直流電源装置点検 ・熱線カメラによる点検 ・ガス開閉器 （点検周期：1年1回） 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 ・保護継電器 （点検周期：1年1回） 外部全般点検	・高圧リアクトル 直列リアクトル（SR） 定格 243V 3.19kvar 警報付 台数3台 （SR1、SR2、SR3） ・高圧コンデンサー 進相コンデンサー（SC） 定格 7,020V 53.2kvar 油入 警報付 台数3台 （SC1、SC2、SC3） ・高圧油入自冷変圧器 （電灯コンセント用） 電圧6.6kV/210/105V 容量 1φ 500KVA 台数 3台 ・高圧油入自冷変圧器 （電灯コンセント用） 電圧6.6kV/210/105V 容量 1φ 300KVA 台数 3台 ・高圧油入自冷変圧器 （電灯コンセント用） 電圧6.6kV/210/105V 容量 1φ 200KVA 台数 2台 ・高圧油入自冷変圧器 （動力用） 容量 3φ 500kVA 電圧 6.6kV/210V 結線 Y-Δ ×5台 結線 Δ-Δ ×4台

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態、整定値及び動作表示の確認。 ・受電送リケーブル (点検周期：1年1回) 外部全般点検 母線の弛み、素線切れ。 支持碍子の損傷、亀裂、清掃。 ・キュービクル (点検周期：1年1回) 外部全般点検 吸気口フィルタ交換。 点検窓清掃、行先名盤カバー交換 ・電力需給用計器用変成器 (VCT) (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。 ・断路器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、錆の発生状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 断路器点検 固定、可動接触子の損耗状態。 ボルト、スプリング、ピンの折れ。 3相のバランス点検。 ・受電用計器用変圧器(VT) (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		・ 避雷器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 碍子の破損、亀裂状態。 接地線の接続状態。 端子の増し閉め。 各部清掃。 ・ 真空遮断器 (点検周期：1年1回) 内部機構点検 消弧室の汚損、損傷状態。 固定、可動接触子の損耗状態。 ボルト、ピン、スプリングの損耗。 開閉機構の動作状態。 各部ボルトの増し締め。 各部清掃。 開閉動作試験 投入時間測定 規定0.30秒 開極時間測定 規定0.03秒 ・ 高圧計器用変流器(CT) (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。 ・ 零相蓄電器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、変形の状態。 各部清掃。 ・ 零相変流器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、変形、セパレーターの状態。 各部清掃。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		・ 真空電磁接触器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。 開閉動作異音なく正常動作の確認。 ・ 負荷開閉器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、錆の状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。 固定、可動接触子の損耗状態確認。 ボルト、スプリング、ピン折れの無いこと。 フックの確実な引っかかりの確認。 ・ 高圧リアクトル (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、変形、亀裂、汚損、ふくらみ状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 各部清掃。 ・ 高圧コンデンサー (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、変形、亀裂、汚損、ふくらみ状態。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 各部清掃。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		・ 受電用変圧器 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 各部の破損、亀裂、漏油、錆の状態。 本体、ブッシング油量。 接地線の接続状態。 端子の増し締め。 サーモテープの貼り替え。 各部清掃。 絶縁油性能試験(専門業者分析) 絶縁破壊電圧測定 30 KV以上で良 全酸化値測定 0.2 mgkOH/g未満で良 ・ 直流電源装置点検 (点検周期：1年1回) 外部全般点検 電槽の変形、亀裂、液漏れ。 極板のたわみ、剥離。 端子の増し締め。 各部清掃。 測定点検 セル毎の電圧、比重測定。 電圧 $2.100 \pm 0.05V$以内 比重 $1.200 \pm 0.01V$以内 液温 45℃以下 ・ 熱線カメラによる点検 (点検周期：月1回) 高負荷時、熱画像カメラにより電力設備各部の 過熱状態を点検し90℃以上で要注意とし、 測定箇所において90℃以下を確認した。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		③定期試験測定 ・絶縁抵抗測定 ・保護継電器点検 ・接地抵抗測定 ・断路器 絶縁抵抗測定 断路器（1000V）メガー アース間を測定。 測定値の良否は、100MΩ以下で要注意としたが、 前回の測定値との推移を見て判断する。 - 制御回路（125V）メガー アース間及び線間を測定。 測定値の良否は、0.1MΩ以下で不良とする。 ・受電用遮断器 絶縁抵抗測定 断路器（1000V）メガー アース間、線間、1次2次間を測定。 測定値の良否は、100MΩ以下で要注意としたが、 前回の測定値との推移を見て判断した。 - 制御回路（125V）メガー アース間及び線間を測定。 測定値の良否は、0.1MΩ以下で不良とした。 ・受電用変圧器 絶縁抵抗測定 内部点検（1000V）メガー 1次アース間、2次アース線間を測定。 ・計器用変成器 絶縁抵抗測定 アース間、1次2次間を測定。（1000V）メガー 測定値の良否は、100MΩ以下で要注意としたが 前回の測定値との推移を見て判断した。 制御回路（125V）メガー アース間及び線間を測定。 測定値の良否は、0.1MΩ以下で不良とする。 ・避雷器 絶縁抵抗測定 1次アース間を測定。（1000V）メガー 測定値の良否は、100MΩ以下で要注意としたが 前回の測定値との推移を見て判断した。 ・母線及び支持碍子 絶縁抵抗測定 アース間を測定。（1000V）メガー 測定値の良否は、前回の測定値との推移を見て 判断する。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		・保護継電器点検 (点検周期：1年1回) 単体試験 動作試験 継電器の動作と共に動作表示器が動作するかの確認。 特性試験 下記の継電器について、動作基準が判定基準にあるかどうかの確認を行う。 過電流継電器及び接地過電流継電器 整定電流における最少動作電流の測定。 判定基準 過電流継電器$0.5A \pm 10\%$以内 接地過電流継電器$0.5A \pm 10\%$以内 整定電流における動作電流の測定。 整定電流の150%、200%、300%、500%700%の電流での動作時間測定。 判定基準 基準値の20%以内 過電流継電器 300%で0.46秒$\pm 20\%$以内 接地過電流継電器 300%で0.74秒$\pm 20\%$以内 不足電圧継電器 整定電圧における動作電圧、復帰電圧の測定。 判定基準 70%$\pm 10\%$以内 整定電圧における動作時間の測定。 整定電圧の0%、20%、50%、80%の電圧で動作時間測定。 判定基準 基準値の$\pm 20\%$以内 (0%で3.3秒$\pm 20\%$以内) 地絡方向継電器 整定電圧における動作電圧、復帰電圧の測定。 判定基準 19.0V$\pm 25\%$以内 一線地絡電圧(AC110V)における動作時間の測定。 判定基準 整定電流130%時、 各タップ整定値の± 0.1秒以内	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		④保安教育 電気主任技術者による年間管理計画に基づく保安教育は、毎年12月の定期停電日前に行った。保安教育には各協力業者および店社安全管理者も参加して行った。 最初に店社安全管理者の協力業者へ日頃の感謝の後、電気主任技術者の安全講和を行った。 私は代務者として、定期停電作業のタイムスケジュールの説明、作業の実態に即した必要な知識及び感電防止について教育を行った。 なお、日常点検においては、週5回程度の頻度で現場巡回しながら、点検ポイント等の指導があった。また、月例点検は毎月同行で行った。 定期停電日は年末年始休暇合わせて毎年12月の実施としていた。 平成30年12月 平成31年12月 令和2年12月 令和3年12月 に行った。	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月		【不定期業務】 ①工事業務 東京電力電化厨房割引の為に専用電力計の取り付け工事、なお当該工事は3φ200V工事であるが受電キュービクル内部での計測機器の取り付け電線の引き回し工事のためキュービクルを停電させての工事とした。 C T 150A/5A P T 200/100V 実施日：2020年5月15日 ②特別巡視 申請期間中、電気主任技術者の指示により下記項目を行った。 ・地震対応 ビルの緊急時対応手順としておおむね震度4以上の地震が発生した場合構内自動放送にて地震の震度、震源地、津波の有無を放送し緊急行動を決めている。 地震の揺れが収まってから電気主任技術者と共に日常点検および月例点検と同様の特別巡視を行った。点検結果は異常の有無を問わず、オーナー様へ報告を行った。 地震発生に伴う特別巡視 平成30年 2回 平成31年 1回 令和2年 2回 令和3年 3回 ・台風対応 台風接近または通過で強風が予想される時、電気主任技術者と共に日常巡視に加え構内を事前巡視し、電気設備周辺に強風で飛散する物が無いか確認し、（ビニールシート、ベニヤ板、発泡材など）撤去または回収し、電力設備への飛散による短絡もしくは地絡事故防止に努めた。 また、台風通過後受変電設備の特別巡視を行った。巡視結果は異常の有無を問わず、オーナー様へ報告を行った。 平成30年 3回 平成31年 5回 令和2年 3回 令和3年 4回 以上、期間中異常は認められなかった。	

上記の実務経験を有することを証明する。

令和 年 月 日

事業場所在地・名称

〒111-1111

神奈川県三浦市三浦町1111番地

はまぐり水産株式会社

証 明 人

代表取締役 巻 貝 鮑 印